

 **セグメント情報****1 報告セグメントの概要**

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行及び連結子会社2社で構成され、銀行業務を中心に金融サービスに係る事業を行っており、「銀行業」を報告セグメントとしております。

なお、「銀行業」は、当行において預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っている他、連結子会社において銀行事務代行業務等を行っております。

また、2022年10月に、当行が保有していた、いよぎん保証株式会社、いよぎんキャピタル株式会社、株式会社いよぎん地域経済研究センター、株式会社いよぎんディーシーカード、いよぎんリース株式会社、株式会社いよぎんコンピュータサービス及び四国アライアンス証券株式会社の全株式を株式会社いよぎんホールディングスに現物配当したことにより、連結子会社14社を連結の範囲から除外しております。

この結果、従来、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度から「銀行業」のみを報告セグメントにしております。従って、前中間連結会計期間のセグメント情報に記載した「リース業」、「その他」は、連結除外となった一部の連結子会社の2022年4月1日から2022年9月30日までの計数となっております。

**2 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法**

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

### 3 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前中間連結会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	76,939	8,157	85,097	1,114	86,212	—	86,212
セグメント間の内部経常収益	226	168	394	790	1,185	△1,185	—
計	77,166	8,325	85,492	1,904	87,397	△1,185	86,212
セグメント利益又は損失（△）	28,518	419	28,938	△9	28,929	△14	28,915
セグメント資産	8,218,322	54,802	8,273,124	13,030	8,286,155	△45,099	8,241,055
セグメント負債	7,506,612	34,438	7,541,051	5,960	7,547,011	△33,054	7,513,957
その他の項目							
減価償却費	2,914	12	2,927	17	2,944	△35	2,908
資金運用収益	44,559	78	44,637	3	44,641	△57	44,584
資金調達費用	6,849	51	6,900	0	6,900	△44	6,856
特別利益	2	—	2	—	2	—	2
（固定資産処分益）	(2)	—	(2)	—	(2)	—	(2)
特別損失	124	—	124	0	124	—	124
（固定資産処分損）	(18)	—	(18)	(0)	(18)	—	(18)
（減損損失）	(105)	—	(105)	—	(105)	—	(105)
税金費用	8,319	138	8,458	20	8,479	2	8,481
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	5,212	0	5,212	9	5,221	△20	5,201

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、情報処理受託・ソフトウェア開発業及び証券業であります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額△45,099百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (3) セグメント負債の調整額△33,054百万円は、セグメント間取引消去であります。
- (4) 減価償却費の調整額△35百万円、資金運用収益の調整額△57百万円、資金調達費用の調整額△44百万円、税金費用の調整額2百万円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△20百万円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

当行グループは、銀行業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。